

第1章 はじめに

宮古島市では、平成15年9月の台風14号の影響で、約800本の電柱が倒壊しました。電柱の倒壊や倒木により、道路の通行を妨げ、住民の避難や救急活動、物資輸送の支障となるとともに、電力・通信サービスの安定供給が妨げられ、長期停電や通信障害発生など多大な影響を及ぼしました。また、道路上に設置されている電柱は、安全かつ円滑な通行の妨げとなっています。さらに、国内外を問わず多くの観光客が訪れる宮古島市は、美しい海と自然豊かな景観を有しており、電柱や輻そうする電線類は、美しい景観を損なう要因ともなっています。無電柱化は、「防災機能の向上」、「安全で快適な通行空間の確保」、「良好な景観の形成」を図ることを目的として、推進します。

第2章 無電柱化の現状

諸外国・国・沖縄県の現状

諸外国 ロンドン・パリなどのヨーロッパ主要都市や香港・シンガポールなどのアジアの主要都市では、無電柱化が概成されています。

国 現在は、第8期無電柱化推進計画に基づき、整備延長約4,000kmを計画目標に策定し、無電柱化を加速していきます。

沖縄県 都道府県別無電柱化率は、全国8位と比較的高い状況です。沖縄県無電柱化推進計画を策定し、無電柱化の推進に向けた基本的方針、目標等を定めました。

宮古島の現状

宮古島市 平良市街地を中心に積極的に無電柱化に取り組み、従来の電線共同溝方式にとらわれず、県内では珍しいソフト地中化方式など柔軟な方式を取り入れています。近年は、緊急輸送道路の無電柱化が進んでいます。



写真 ソフト地中化による無電柱化
(公設市場前交差点付近より)

第3章 無電柱化推進計画について

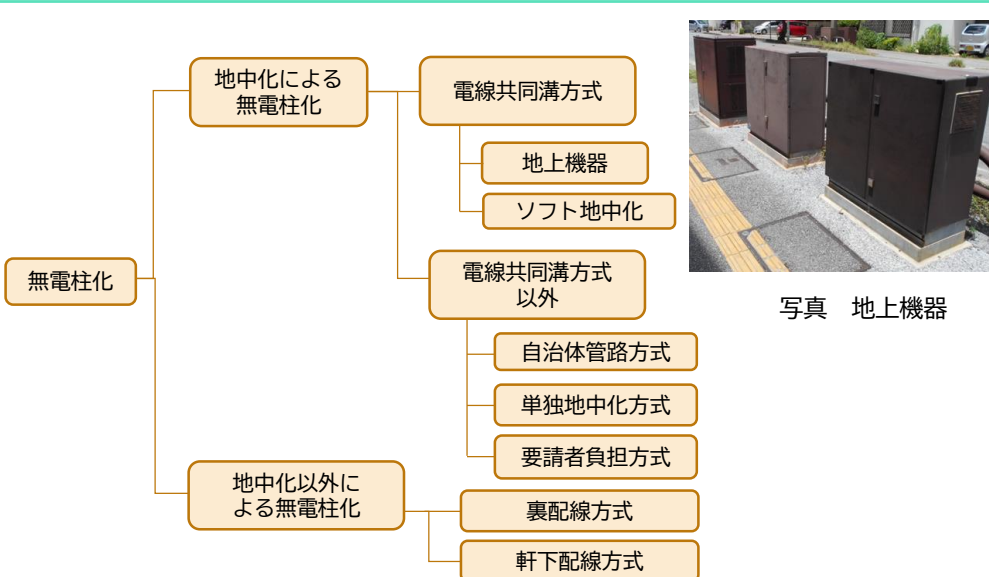


第4章 計画の目標

	路線延長目標距離		中央縦線	B-26号線	高校東線
事業完了	中央縦線	約2.1km	事業完了：約2.1km	事業着手：0.3km	事業着手：約1.8km
事業着手	B-26号線	約0.3km			
	高校東線	約1.8km			

【計画の期間】
令和5年度から令和14年度の10年間
【計画の目標距離】
約4.2km

第5章 無電柱化の整備手法と整備方式



第6章 無電柱化の推進に向けた取組等

